



日高川町ゼロカーボンシティ宣言

水と緑の豊かな自然が息づく日高川町は、地域特性を生かしながら、農林業の振興や観光・交流、移住・定住を推進しています。この地域が有する貴重な歴史的・文化的な資源やきれいな水、空気、満天の星が輝く夜空、のどかな農村風景など、自然そのものが貴重な財産・資源であり、未来を生きる世代に、かけがえのない豊かな自然環境を確実に引き継がなければなりません。しかし、近年は全国的に巨大台風や集中豪雨による自然災害が激甚化するなど地球温暖化の影響は深刻さを増しています。私たちの日高川町は、昭和 28 年の紀州大水害や平成 23 年の紀伊半島大水害では多くの家屋が流失し、人命が奪われるなど甚大な被害を受けました。こうした自然の猛威は私たちの生命や暮らしを危機にさらす「気候危機」と言うべき極めて深刻な問題となっています。

これらの課題を解決するため、2015 年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇を 2 度未満とし、1.5 度に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。また、2018 年に公表された IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、この目標を達成するために、「2050 年までに CO₂ 排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

この目標達成に向けて、平成 23 年紀伊半島大水害から 10 年目となることを踏まえ、今後も住民の生命と財産を守り、この豊かな自然環境を次の世代につないでいくため、災害に強いまちづくりを目指し、町民や事業者の皆様と一体となって「2050 年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを実現できるよう取り組むこと」を決意し、ゼロカーボンシティへの挑戦を宣言します。

今後、この目標が実現できるよう取り組んでまいります。

- 1 災害に強いまちづくりを目指し、防災・減災に取り組めます。
- 2 森林・農地の保全と水資源の保全に取り組めます。
- 3 ゴミの減量化、分別化、海洋プラスチックゴミ防止に取り組めます。
- 4 地球温暖化防止や気候変動問題の環境教育・啓発活動に取り組めます。
- 5 蓄電池システムなど新しいエネルギー技術の普及促進に取り組めます。

令和3年11月29日

日高川町長

久留米啓史